

ごあいさつ

長岡大学地域研究センター所長
本学学長 中西 貞 夫

長岡大学地域研究センターは、文字通り、地域社会の発展に貢献するためのシンクタンクとして、活動するものであります。現在、社会諸情勢の変化は極めて激しくまた流動的であり、グローバル化、情報化、少子高齢化等に伴う地域社会の多様な要望に応えるためには、時代の進展に適応した研究の一層の質的向上を図ることが必要と考えております。このような社会的、地域的要請に応えるために、当センターでは、産業・経済の振興、地域社会の進展に貢献することを目的に、地域社会との関係の緊密化、地域および全国の大学研究機関との交流の推進、そして当地域研究センターの研究員の研究を一層促進し、大学附属機関としての質的充実を図っていく所存です。私どもは、小さいながらも地域からの情報発信基地として精一杯努力したいと考えています。とりわけ、「地域に根ざし世界に開く」研究機関として、地域独自の経済・企業経営等の諸問題を解明するために必要な研究を進め、その成果を積極的に地域に提供し、さらに、地域と連携して、その自立と発展に貢献します。昨年度は、企業の競争力を強化し、現在の経済環境を乗り切るための検討が重要な課題であるとの認識にたつて、「知識経済と企業・人材育成」をテーマにシンポジウムを開催いたしました。その内容については、本誌の特集1をご覧ください。

また、近年の情報・通信技術の発展、規制緩和、グローバル化により、わが国の産業構造は大きな転換期を迎えております。まさに時代は、国家主導型から民間主導型へ変化すると共に、地域の役割が非常に重要になってきております。地域間競争が激化する中で、各地で市町村合併が検討され、新たな地域政策が模索されている現在、人やコミュニティの役割がその重要性を増しております。そのような中で、農村部は都市部よりも開業率が低いものの廃業率も低く、結果として事業所数の減少幅が小さくなっております。さらに、雇用面においても安易にリストラをしないなどの効果がみられることが明らかとなっております。そこで、本年度は「地域間競争力と経営風土—しぶとい、地方の製造業が日本を変える—」をテーマにシンポジウムを開催いたします。

発足以来、新潟県、長岡市、長岡商工会議所をはじめとする地域社会の広範な各層のご支援をいただいたことを御礼申し上げますと共に、今後ともますますご支援のほどをお願い申し上げます。